

第2回県立学校統合校校章等選考委員会 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成29年7月12日(水) 9:00
閉会 11:46

2 場所

高知県教育センター分館 中講義室

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	高知工科大学	教授	重山 陽一郎
	高知大学	教授	藤田 詠司
	高知南高校	副校長	岡田 圭司
	高知西高校	副校長	高野 和幸

4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	高等学校課課長	高岸 憲二
〃	高等学校課課長補佐	藤田 優子
〃	高等学校課再編振興担当チーフ	池上 淑子

5 傍聴

5名

6 内容

【開会】

事務局 (司会)	<p>定刻になりましたので、ただ今から、「第2回県立学校統合校校章等選考委員会」を開催いたします。</p> <p>私は、本日の進行役を務めます、高知県教育委員会事務局高等学校課再編振興室チーフです。よろしく願いいたします。</p> <p>まず、開会にあたりまして、高知県教育委員会事務局高等学校課長がご挨拶いたします。</p>
課長	<p>こちらの方で失礼をいたします。</p> <p>皆さん、おはようございます。本日は県立学校統合高校校章等選考委員会にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。本日、第2回目を迎えることになりました。</p> <p>本日は、高知国際中学校・高等学校の制服選考のためのプレゼンテーションをメーカーからしていただき、その後、審査をしていただく予定になっております。高知国際中学校につきましては、来年4月開校を目指しまして、着々と今準備を進めているところでございます。7月1日には学校が設置をされ、スタッフも揃え、これから制服等、残りました準備に取りかかっているところでございます。</p> <p>本日の会も制服選考ということで、非常に大きな任務になるかと思っておりますけれども、どうぞよろしく願いをいたします。高知県教育委員会としましても、この高知国際中学校・国際高校につきましてもグローバル人材を育てるということで、大きな目的・目標を持って進めているところでございますので、委員の皆さま方におかれましては、そういった視点も含めて選考の方をよろし</p>

<p>事務局 (司会)</p>	<p>くお願いをしたいと思います。</p> <p>開会にあたりまして、簡単ではございますけれども、挨拶とさせていただきます。本日どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は県立学校統合校校章等選考委員会設置要綱に基づき、委員を委嘱・任命させていただいた4名の委員にご出席いただいております。</p> <p>それでは、ご出席の委員の皆さまを紹介させていただきます。</p> <p>高知工科大学システム工学群副学群長 教授 重山陽一郎委員 高知大学教育学部学部長 教授 藤田詠司委員 高知南高等学校副校長 岡田圭司委員 高知西高等学校 兼 高知国際中学校 兼 高知国際高等学校副校長 高野和幸委員</p> <p>委員の皆さま、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本日の日程について説明させていただきます。次第をご覧ください。本日の日程は、「プレゼンテーションについて」「制服メーカーによるプレゼンテーション」「プレゼンテーションについての審査」となっておりますので、ご協力よろしくお願います。</p> <p>次に、配布資料について確認させていただきます。</p> <p>クリップ止めの次第が表紙になった資料がございます。次第以下内容は、資料1の「県立学校統合校校章等選考委員会」設置要綱、資料2の「県立学校統合校校章等選考委員会」委員名簿、資料3の「高知国際中学校・高等学校の制服選考のためのプレゼンテーション実施要領」となっております。不足している資料がありましたらお知らせください。</p> <p>本日のプレゼンテーションは公開となっております。</p> <p>傍聴に関してのお願いをお伝えします。</p> <p>本選考委員会では、傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお改めない場合は、申しわけございませんが退場していただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>それでは、ここからの進行は会長にお譲りいたします。会長、よろしくお願いいたします。</p>
---------------------	--

【プレゼンテーションについて】

<p>会長</p>	<p>では、次第に従って会を進行いたします。</p> <p>まずは、本日のプレゼンテーションについて、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>失礼します。高等学校課課長補佐でございます。今から、前回の選考委員会の内容及び本日のプレゼンテーションについてのポイントを説明させていただきます。</p> <p>資料3、プレゼンテーション実施要領をご用意ください。座って失礼いたします。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>まず、5月25日に開催いたしました第1回選考委員会での内容を確認いたします。「1 概要」の「(2) 制服決定に関する県</p>

教育委員会の方針」です。

新たな制服を作成することとし、制服候補の選考につきましては、

- 選考委員会を設置し検討すること
 - メーカーからのプレゼンテーションを受けて、制服候補を作成する1社を決定すること
 - 決定した1社から、制服候補の提案を受けること
 - 県教育委員会は、選考委員会からの制服候補の報告を踏まえて制服を決定すること
 - 検討過程において、学校関係者の意見を聴取すること
- ということが確認されております。

この選考委員会の一連の流れを示したのが、下の「(3) 制服決定のスケジュール」となっております。本日、第2回で販売店から推薦された制服メーカーにプレゼンテーションしてもらい、制服メーカーを1社決定いたします。

次の第3回選考委員会では、本日決定した制服メーカーから制服を4種類以上提案してもらい、第4回選考委員会で順位付けをして、県教育委員会へ報告していただくこととなっております。

では、2ページ「2 プレゼンテーション説明会について」をご覧ください。

第1回選考委員会終了後、6月14日には、参加を希望する制服メーカーへのプレゼンテーション説明会を開催いたしました。プレゼンテーションの形態や内容、提案してもらった製品のコンセプト、プレゼンテーションの評価観点について説明をいたしております。

続きまして「3 プレゼンテーションについて」をご覧ください。(3)には高知国際中学校・高等学校の制服のコンセプト等、(4)には、制服メーカー参加資格が書いてございます。「(6) プレゼンテーションの内容」をご覧ください。本日のプレゼンテーションは、プレゼンテーションが15分以内、その後、質疑応答を10分以内で行います。プレゼンテーションの順番は、参加申し込みの順番となっており、制服メーカーA社様、制服メーカーB社様の順番で行うことになっております。

3ページ、「(7) 提出物」をご覧ください。本日のプレゼンテーションでは、製品のサンプルと企画書が提案の内容になります。参加メーカー2社には、先ほどの「(3) 高知国際中学校・高等学校の制服のコンセプト等」や「(4) 制服メーカー参加資格」を前提にプレゼンテーションしてもらいように伝えてあります。このコンセプト等がこの提出物にどう反映されているのかを選考委員の皆さまには評価していただきたいと思っております。

最後に、「4 審査について」の「(3) 審査の項目及び点数」について説明させていただきます。

ア、イが企業力になります。企業の業績や実績、品質管理、納期への対応力等、このメーカーに任せても大丈夫かどうかという観点で見たいと思っております。

ウ、エ、オが企画力です。高知国際の教育目標のイメージをどう理解しているか、それをどう制服のデザインに落とし込んでいるか、全体としてのデザインのバランスが取れているかということになります。今回の評価の観点で最も重要だというふうに考えております。

<p>会長</p>	<p>カ、キ、クが仕様面になります。きちんとした制服の原型を作ってもらおうということから評価の観点に入れております。</p> <p>ケが価格面です。価格の絶対値も大事になりますが、コストパフォーマンスという点でも見ていただきたいと思っております。これから長く続いていく高知国際中学校・高等学校の制服として、きちんとした製品でかつ価格も安い。そのようなものを提案していただきたいというふうに思っています。</p> <p>コがフォロー面になります。フォロー面とは、今後複数のメーカーが同じ製品を作成していく中で、トラブルの起きにくい制服になっているかどうかという観点になります。</p> <p>以上、前回の選考委員会の内容と、本日のプレゼンテーションの内容、審査について説明させていただきました。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。ただいま、事務局からプレゼンテーション及び審査の観点についての説明がありましたが、委員の皆さま、何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>では、プレゼンテーションについての確認ができましたので、事務局の皆さまプレゼンテーションの準備をお願いいたします。</p>
-----------	--

【制服メーカーによるプレゼンテーション】

ア 制服メーカーA社

<p>会長</p>	<p>ではプレゼンテーションの準備ができましたので、委員の皆さまは、先ほどの評価基準に基づいて評価をお願いします。評価は審査資料の2-1、2-2を評価していくことになります。</p> <p>では、制服メーカーA社さん、プレゼンテーションをお願いします。</p>
<p>A社</p>	<p><制服メーカーA社によるプレゼンテーション></p> <p>皆さま、おはようございます。我々、今ご紹介あずかりました制服メーカーA社と申します。まず、プレゼンの方をさせていただくにあたって、先ほどちょっとお配りさせていただきましたこの封筒の中身の方を確認していただきたいんですけども、こういった形のカラー刷りさせてもらった企画書というのが1部と、あと概算価格というのを記載させてもらった今回のご提案制服のお見積書という形でA4の紙1枚入れさせてもらっているんですけども、間違いなく入ってますでしょうか。</p> <p>では、早速なんですけれども、プレゼンの方、させていただきますね。</p> <p>この度は、新しく統合される高知県立高知国際中学校・高等学校様の新制服のご提案、プレゼンテーションの機会をいただきまして、誠にありがとうございます。15分という短い時間ではございますけれども、精一杯ご提案させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>簡単に自己紹介なんですけれども、我々松山営業所から、本日はまいりました。よろしくお願いたします。</p> <p>では、こちらの企画書に沿って順次ご説明させていただければ</p>

と思うんですけれども、まず1ページ、2ページ目ということで、メーカー紹介ということで簡単に書かせていただいております。

我々は岡山県倉敷市児島、こちらの方に本社を構えておりまして、学生服の製造メーカーというのが岡山に集中してまして、岡山県の会社で大体日本全国の制服の7割ぐらいを製造しているということで、我々もこの学生服業界の一端を担っているという自負のもとで日々活動させてもらってます。

ものづくりの精神としましては、この1ページの下の方に書いてます、「一針一心真心を込めて」ということで、いいものを着てもらいたいということにこだわってまして、それは後ほど紹介もさせてもらうんですけれども、製造の方は基本的には国内生産ということで、生徒の皆さまに安心安全なものを、いいものを長く着てもらいたいという思いで、商品の製造をさせていただいております。

次3ページ、4ページ目になるんですけれども、全国で大体高等学校は5000校ほどございます。その中で、今弊社の納めさせてもらっている、ご採用いただいている学校が大体1400校強で、毎年全国でいろいろモデルチェンジがあったりだとか、今回のように統合とか、そういうので新しい制服に改定される学校様が毎年ある中で、8年連続採用率ナンバー1ということで、ちょっと手前味噌にはなるんですけれども、学校様からも信頼いただいているメーカーであるということ、ちょっと簡単にご紹介させていただいております。

次5ページ、6ページなんですけど、こちらは生産体制の方について、簡単に書かせていただきました。先ほども申し上げたんですけれども、我々はやはりいいものを生徒様に安心安全に着ていただきたいという思いで、国内生産にこだわっておりまして、本社は岡山にあるんですけれども、山口県の宇部市というところに大きな工場、基幹工場を構えておりまして、製品の裁断から縫製、検品、仕上げ、最終的には出荷されるというような、こちらの一連の流れを1つの工場でラインとして組み込んでやらせていただいております。

7ページ、8ページ、ここからが本題になってくるんですけれども、ご提案させていただくコンセプトということで、ここに書かせてもらっている内容は事前にいただいた学校のパンフレットを抜粋させてもらっているんですけれども、それをいろいろと読ませていただきまして、こちらの新しい学校さんのこだわりが詰まった制服、国際という名前も付いてますので、そういった部分も含めて何か形にしたいなという思いで、今回こちらの商品をお持ちさせていただきました。

早速ちょっと商品の方、9ページ、10ページに書かせてもらっているんですが、まず冬服なんですけれども、男女ともシングル3つボタン、ジャケットですね。紺色のジャケットにちょっと色の違うボトムスで、いわゆるブレザースタイルという、非常にオーソドックスな形ではあるんですけれども、本当に一番多くの学校様でご採用されているようなスタイルで、長く飽きのこないデザインと言いますか、これから伝統を作っていかれる学校様であると思いますので、こういったオーソドックスな形というものを選びさせていただき、今回お持ちさせてもらいました。

中学校と高校があるということなので、全国見てみると中学校

の部分と高校の部分で制服がまるっきり違うという学校様も、中にはやっぱりあったりはするんですけども、やはり昨今の経済事情とかも含めまして、基本的なスタイルは中高統一させた形で、学校としての統一性を持たせて、リボンとネクタイですね。こちらの色で中学と高校で分けられたらどうかなというような。これでしたら、大体こちらの見積書にも書かせてもらってる概算価格でいきますと、ネクタイ・リボンが2,500円弱ぐらいになりますので、それだけ買い換えをしていただいたら、高校へ上がるときの制服代の負担というのは、かなり押さえられるかなという部分で、こういう形でのご提案をさせていただきました。

一応今回は中学校に臙脂色のネクタイ・リボン、これは中高の中でも若い世代に入りますので、エネルギー感と言いますか、そういった部分をイメージしてエンジの方を中学校用ということで、ご提案させてもらっています。高校の方は知的さとかさわやかさ、そういった部分をイメージするブルー、それをネクタイ・リボンの色にさせていただいております。

冬と夏なんですけれども、ボトムスは基本的にこのままの同柄で夏素材、カッターシャツとブラウスは、今長袖着てるんですけども、これを脱いだ状態が半袖バージョンという形でご用意させていただいております。上着とかズボン、ボトムズ関係ですね、含めてこれは全てウオッシュャブルということで、近年家庭での洗濯が容易にできる素材というのもたくさん出てきてまして、クリーニング代というのも、今回でいうと6カ年になると思うので、ランニングコストを考えると、ご家庭で簡単にメンテナンスができる素材という方が、最終的にはご負担いただく額というのは押さえられるのではないかなということで、こういう素材をご提案させていただいております。

次に11ページなんですけれども、いわゆるこういうブレザースタイルということで、学校様の独自性というのもどうしても出されたいという学校様が、やっぱり多いものですから、今回はちょっとこれダミーになるんですけども、エンブレムを付けられたらどうかなということで、今回ちょっとダミーなんで企画書に書いてるデザインとはちょっと違うんですけども、ここに書いてあるように、これはさまざまなデザインが作れます。やっぱり大きさとか色数によって、値段は多少変わっては来るんですけども、ご希望の形で納得いくまでそれはお作りできます。

今回ここに書かせてもらっているのは、高知西高等学校様と高知南中学校・高等学校様、こちらが一緒になれるということで、それをあしらったようなデザインで2つの学校が1つになって、これから新しい伝統を創っていくのをイメージして、エンブレムというのをご提案内容に入れさせていただきました。

他にも、ちょっと今回は書いてはいないんですけども、エンブレムは付けないけど、ボタンを学校オリジナルなものを作ったりとか、そういう対応も可能ですし、現実にそうされてる学校様もたくさんございますので、その辺りはこれから話を詰めていくにあたって、微調整と言いますか、そういうのはできますので、今回の独自性の表現という部分には、当社はエンブレムというのをご提案させていただきました。

12ページのご提案素材ということで、これは上着の素材になるんですけども、「LAUND SAT (ランドサット)」という商標の素

材なんですけれども、ウール 70%、ポリエステル 30%という区分です。比較的最近ウール 50%、ポリエステル 50%でご家庭で洗濯できる素材が、結構多く出回っているわけですけど、ただ、どうしてもウールの混率が高い方が風合いとか高級感という意味では増してきます。ご家庭で洗濯できて、メンテナンスが楽、ランニングコストも抑えられる、だけど、風合いというか気品と言いますか、そういうのも残せるようにという部分で、こちらのウール 70%、ポリエステル 30%の素材をご提案させていただいております。

下にちょっと写真が載ってて分かりづらいんですけど、洗濯前、洗濯 10 回後、20 回後ということで、ご家庭で洗濯していただいても十分丈夫に耐久性もある素材ということになっております。

次、13 ページなんですけれども、縫製技術ということで、我々「サスペンションブリッジ工法」ということで、ここに書いてるように、力学に基づく設計にという部分でやってるんですけど、横から見ていただいたら分かると思うんですけど、ちょっと袖の付け方が前に付いていて、真っ直ぐじゃなくてちょっと前に出るといふ。やっぱり人間が自然な体勢でいるとき真横に手があるんじゃないくて、ちょっと手が前に出てる。なおかつ学生だと、やっぱり自転車乗っている通学時間であったりとか、授業を受けてるこういう体勢ですね。そういうときに少しでもストレスがなく、着心地よく着ていただくという部分で、パターンですよ、楽に着てもらえるような、人間の自然な身体の動きを妨げないようなパターンを採用させていただいております。

次 14 ページなんですけど、最新の縫製技術ということで、これはちょっと表には見えない部分なんです、工夫をさせてもらったんですけど、こちらが肩パット、中に入ってるんですね。これを押さえるたれ綿というのもここに入っています。そしてあと芯地。表面だけじゃなくて、中の部材というのもきちんといい物を使わないと、どうしてもメンテナンス、洗濯したときにダメージが表に出てきちゃったりとかという部分、それからしわになりやすくなったりとか、着こなしというか、シルエットであったり、そういった部分にも影響が出てきますので、この中の芯地についても、こだわりを持ったものを使わせていただいております。

あと 14 ページの下の方に書いていますアジャストカフスの採用ということで、袖が 2 センチ織り込んでいます。糸を裏地とこの身生地をほどくと袖が出てくるようになっているので、中学校の間というのはかなり成長される時期だと思います。特に男の子なんかは。そういったときに、袖を出すことによって、通常だったら袖が出せなかったら買い換えないとツンツルテンになっているようなジャケットでも、ご家庭でもお店でもいいですし、出すことによってもう少し長い期間着られるようになるという工夫を施しております。

最後 15 ページになるんですけど、採寸については、これから制服が決まると、制服の着こなしの用法であったりとか、スカート丈の基準はこうだよとか、いろいろ決められると思うんですけども、そういった学校規定に則った、風紀を乱さないような着こなしになるような採寸を行うようにご指定いただいている販売店様に、そちらの方と一緒に取組ませてもらえたらと思います。

	<p>2番目の個別対応ということなんですけれども、サイズ交換とかが生じた場合は、その内容を確認の上、即適正に交換させていただき対応も取らせていただきます。</p> <p>あとは、ちょっと規定外というか、既成サイズで入らない体格のお子様に対しては、別のサイズということで、別あつらえですね、特注品ということでお作りすることも可能です。その方の体系に合った全ての、肩幅、バスト、ウエストという寸法を測った上で、きれいに、どういう体型の方でも着こなしていただけるような別サイズをお作りすることも可能です。</p> <p>あと、赤字で書かせてもらってます天災・火災などの不慮の事故があった場合へのセーフティー機能であったりとか、紛失・盗難等への緊急事態への迅速な対応という、そういった部分で、遭われた後のアフターフォローという部分にも販売店さんと協力しながら十分留意させていただきますので、その点をご安心いただければと思います。</p> <p>こちらの見積書の方で一応一言なんですけど、我々メーカーですので、最終的に販売価格を決められるのは販売店さんになりますので、一応概算価格ということで弊社の方から出させていただきます。当然、これから修正していくにあたって、生地が替わったりとか先ほどのエンブレムをもうちょっと大きくしたりとか、そういうのがこれからいろいろ出てくると思うんですけど、その中で多少の上下、ちょっと高くなることもあれば逆に安くなるようなこともあるかもしれないんですけど、その辺だけご認識いただければなと思います。</p> <p>一番下の備考欄に書かせてもらっているんですけども、先程申し上げました特注品の金額ですね。こちらに関してはちょっとお値段が割増しになっちゃうという部分だけ事前にご説明させていただきます。</p> <p>以上、簡単ではございますけれども、こちらからの商品の紹介であったりとかというのは、以上とさせていただきますが、何かご質問等ございましたらおっしゃっていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今、制服メーカーA社さんにプレゼンテーションしていただきましたけれども、委員の皆さまから、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
会長	<p>では私から2点教えていただきたいんですが、1つはコンセプトの辺りの関係なんですけれども、この高知国際中学校・高等学校らしさというのは、どういうところで表そうとされたのでしょうか。途中で出てきた縫製技術のほうで「サスペンスブリッジ工法」これは他の業者でも使えるような工法ですか。</p>
A社	<p>サスペンスブリッジ工法の方から説明させていただきますと、これは弊社が独自で呼んでる呼び方で、他社さんも同じような技術というか縫製はされていると思います。ただ、その名称が各会社ごとで違っていたりとか、こういう表現方法が、我々はこの橋をモチーフにして力、圧力を分散させるような作り方をしていますという表現方法をしてるんですけども、他のメーカーさんもこの着心地に関して、〇〇工法とかいうような形で、こういうやり方</p>

	<p>で着心地をよくしてますというような技術は持ってらっしゃるか と思いますので、詳しく見ていくと、やり方が微妙に違うかもし れないんですけども、大きな枠で着心地を良くするという部分で 見ると、どこの会社様も似たような縫製パターンと言いますか、 そういのは使われてるかと思います。</p> <p>それと、コンセプトの方なんですけれども、この飽きのこない デザインという部分で、高知国際という名前なのでごく先進的 なイメージを我々としては持っているんですけども、結局、我々 は服を作る会社なんですけれども、制服を作っていかれるのは学 校様、生徒様、それから地域の方々、そういった方が時間をかけ て伝統として創り上げていって、制服を見たら高知国際だねとい う、そういうのが一番重要ななというふうに考えておりますので、 すごく新しい学校様なんですけれども、ここはあえてシンプルで 飽きの来ないデザインというので、こういったブレザースタイル、 オーソドックスなものを提案させていただきました。</p> <p>こういうリボン・ネクタイ、これを中・高で分けたりとかとい うことで経済的負担を減らすという部分でのらしさ、と言いま すか、中学校と高校が一緒になってるという部分で、何か保護者 の方とかにメリットが出せるような形でという部分で、このよう な提案をさせていただいております。</p> <p>もちろん、高知西高校さんと南中学校・高校さんはスクールカ ラーがおそらくあると思うんですけども、それを持ち寄って中 学校のネクタイ・リボンは西高校のスクールカラーを取り入れた ものを使おう、高校に上がった分に対しては南中・高のものを使 おうとか、そういうふうなやり方も全然できますので、そういう 微調整を加えていって、より高知国際らしさっていうのを追求で きればなというふうに思います。</p> <p>それとあとは、我々本当にいろいろな生地とか仕様とか、今回 ご紹介できなかった技術っていうのがまだまだたくさんあるん ですけども、やはり最初の条件で言われてましたどこのメーカー でもできるっていう部分、というちょっと制約と言いますか、条 件がございましたので、その中でちょっとご提案できるものが限 られてしまってきているというのも、実際正直なところは事実と してはあるんですけども、その中で我々がご提案できる精一杯 のものを今回お持ちさせてもらっているという形で。答えになり ましたでしょうか。</p>
会長	そのほか何かありませんか。
委員	<p>今回、この形を持ってきていただけてますけれど、もし採択さ れた場合には、いくつかのバリエーションの中で、順位付けをす るということも事務局からありましたので、大体どれぐらいのプ ランのご提案予定ですか。何点出されますか。</p>
A社	<p>この後の会でということですね。</p> <p>それはもう、いくらでも出せると言えば出せるんですけども、 ほんと、一番いいのは我々の本社に来ていただけたら、サンプ ルルームでばあっと何千着って並んでいるので、本当にその中 さんに見ていただくのが一番早いといったらあれですけど、た くさんの物を見ていただければと思いますので、我々からご提案させ</p>

	<p>てもらうのを気に入っていただければ、それもいいんでしょうけど、皆さま方の目でいろんなものを見ていただいて、お決めいただくというのも1つの方法としてありじゃないのかなというふうに、ちょっと我々は思っております。</p>
委員	<p>もう1点、価格が生地によって変わってくるのは分かりますけれども、おおよそ、これもおおよそでいいんですが、大体上下でいうとどれぐらいの差が出るものですか。</p>
A社	<p>例えば、上着のジャケットを替えますというような場合で、今回だったらウールが70%、ポリエステルが30%素材をご提案させてもらっているんですけど、例えばウールとポリエステルが50%ずつのものにしたとしたら、細かい仕様にもよってくるんですけども、500円から1,000円ぐらい下がるんじゃないのかなというような、本当に概算なんですけど。一般的にはウールの混率が高い生地ほど価格にそのまま跳ね返って来るので、近年の経済事情とかご家庭でのメンテナンスという部分の観点でいくと、ウール50%ポリエステル50%という素材をご採用されている学校様が多いのは事実です。</p>
会長	<p>よろしいですか。その他ございませんか。</p>
委員	<p>メンテナンスのことをしっかり提案の中に盛り込んでいただいておりますけども、先ほどの素材のところでの話にも関わるかも分かりませんが、ランドサットという生地で、家庭で洗え、洗った後、アイロンとかそういったものはやはり家庭でやる必要もあるということですが、洗って干せばよいというような素材ではないですか。</p>
A社	<p>そうですね、脱水を余りきつくかけられなければ、ハンガーちょっと肩幅の厚みのあるハンガーに掛けていただいて、陰干しなりしとってもらえたら、ある程度しわも回復するかとは思いますが、きれいに着ていただくのであれば、やっぱりちょっとアイロンを当ててもらった方が、一番きれいには着ていただくことができます。そんなにむちゃくちゃしわくちゃになるとか、そんなことはございません。</p>
会長	<p>よろしいですかね。その他ございませんか。</p>
副会長	<p>日本の制服って、外国人から見るとどんなふうに見えるんですかね。</p>
A社	<p>ちょっと制服と話が逸れちゃうんですけど、ランドセルが海外で流行っているというニュースが、つい1、2年前ですかね、パリとかニューヨークだったかと思うんですけど。ちょっと我々、ここに書いてはないんですけど、会社のPRキャラクターっていうのを去年辺りから設定しまして、クールジャパンということでアニメとかそういったものが、外国の方からも評価されてるっていうような部分に我々も視点向けてまして、そういう部分でいくと制服文化に関しても、外国の方というのはすごく注目されてい</p>

	<p>る。</p> <p>ちょっと私、実際見たわけではないんですけど、やっぱり海外の制服って、全てではないと思うんですけど、どうしても値段が安くて、言葉が悪いんですけど、粗悪品みたいなのが出回ってるというような話もよく聞くんで、そういう意味では、メイドインジャパンというのは制服文化に限らず、世界に対して誇りを持っていい伝統の文化と言いますか、そういうふうに捉えていただいていいのじゃないかなと、私個人的には思っています。</p>
会長	<p>よろしいですかね。その他ございませんか。</p>
委員	<p>袖が伸びるとかいう話で、特に中学校の話になってくるんですが、中学校1年から高校3年までになったときに、男子生徒の場合かなり成長するので、ズボンにしても、最初足の長さ、やっていったときの何ですかね、線とかどうしても出ると思うんですよ。その辺りのダメージというのは、どういう生地によるかと思うんですけど、今のこれだとどんな風になりますか。</p>
A社	<p>これについては、どうしてもどんな生地使っても残っちゃいます。なので、そこをすごく気にされる方は、もう新調していただくしかないんですけども、当然、裾上げについても10センチぐらいは折り返しますんで、大体7センチとか8センチぐらいは、後から伸ばすこともできますし、袖についても、先ほど言ったように2センチぐらい出るようになってますので、ある程度の体型の変化であれば対応できるような仕様にはさせてもらってます。</p> <p>我々が松山の方でも中等教育学校様の制服とかも携わらせてもらっているんですけど、やっぱり中学校の間で20センチも30センチも伸びる男の子、結構いますので、6年間1着で過ごされる方というのは、やっぱりほとんどいないです。</p> <p>成長の部分で買い換えていただくことはあるかと思うんですけども、中等部から高等部と言いますか、中学から高校に上がることが要因で制服を一新しなくちゃいけないというのは、避けるような提案をちょっと今回させていただいております。</p>
A社	<p>男の子は無理だと思います。ほぼ100%2着ないしは3着。女の子は6年間1着で済まされる生徒さんが半分ぐらいいらっしゃいますけど、それもやっぱり個人差がありますので、小学校6年生で伸びきっていないお嬢さんがいれば、どっかでもう1着買っていただかないといけないケースはあります。そこは1着でというのはちょっと厳しいと考えます。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、以上で制服メーカーA社様のプレゼンテーションを終わりにしたいと思います。事務局から製品サンプルについては、審査期間まで置いていただくと聞いておりますので、のちほどカバーをかけて会場の後方に移動させていただきます。</p> <p>そして、この審査結果につきましては、日を改めて事務局よりメール及び郵送で連絡があります。第1位になりましたら次のステージで高知国際中学校・高等学校の制服のご提案をよろしく</p>

	<p>お願いいたします。もし1位になった場合ですけれども、そのときは公開の選考委員会、選考委員会、公開することになります。その支障はないでしょうか。公開するという点に関して。</p>
A社	<p>それは大丈夫です。</p>
会長	<p>よろしいですか。 では、プレゼンテーション、どうもありがとうございました。</p>
A社	<p>ありがとうございました。 よろしくお願いいたします。</p>

【制服メーカーによるプレゼンテーション】

イ 制服メーカーB社

会長	<p>準備ができたようですので、制服メーカーB社様、プレゼンテーションをお願いいたします。</p>
B社	<p>よろしく申し上げます。皆様、こんにちは。私たちは制服メーカーB社と申します。本日は高知国際中学校・高校の新しい制服のご提案という素晴らしいミッションに、私どもにも機会をいただきまして誠にありがとうございます。高知県に生まれて、高知で働く者としてこれ以上ない光栄なことというふうに感じております。提案の時間が15分間という、おしゃべり好きな私にとっては極めて短い時間でございますが、とにかく心のこもった、魂を込めたご提案を今日、準備させてもらいました。何卒また、15分間という短い時間でございますが、お付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>じゃあ早速ですが、まず最初、こちらの画面を使いながらまずは会社の自己紹介から始めていきたいと思っております。</p> <p>私たちは岡山に本社を構えます学生服の大手メーカー、制服メーカーB社の高知営業所です。2003年の開所以来、県内の高校30校、中学校95校の制服、体操服を納入しております。お取り先になる販売店は県内で約70店舗を数えます。我々の最大の強みは、やはり国際中・高さんまで車で20分で駆けつけることができるということが最大の強みです。そして、70店舗のうちには既存の今の西校さんや南高校さんの制服の販売店である各販売店さんも我々のパートナーとしてお取引をさせていただいております。それも強みだと思っております。</p> <p>次に我々のものづくりの能力ですが、生産能力について、我々の最大の強みは外注をほとんど使用しない。自社一貫生産に対するこだわりです。ブレザーやセーラー服はもちろん、プリーツ、スカートのプリーツを当てる窯まで自社内に構えております。それゆえ、この設備は業界の中でもわが社しか持っていない設備というふうになっております。一日の生産量は全商品約2.2万枚。ブレザー、そのうちブレザーは日産量500着を毎日つくっております。時間に換算しますと、1分に1着、商品が仕上がってくるという生産能力をもっております。今年の3月は、繁忙期となる3月14日以降、入学式までに会社全体では約6万点のアイテムを</p>

つくり、また高知県内においても 1,500 着の高校生の制服を受注、納品、完納しております。

品質管理におきましては、286 名の縫製技能士の厳しい目でチェックをしております。年間のクレーム発生数は 0.001% ということで、極めて低い水準を維持しております。また、品質や商品に対するご意見、ご不満、お問い合わせ、これは担当営業だけでなく、お客様相談室でも承っております。そこでいただいたご質問は 41 名の繊維製品品質検査士、管理士が原因究明、説明の方を対応させていただいております。

そして特にアフターフォローに関しては、私のこだわりですが、売る前のお世辞よりも売ったあとの奉仕、これを肝に銘じなさいと、部下にも言っております。永遠のパートナーを目指していきたいと思っております。

国際中・高さんの制服は、例えば分納形式になった場合には、当社が直接、既存の販売店さんとも話し合い、とりまとめや調整をすることで学校様の業務負担を大幅に削減することができます。特に販売店ごとの採寸のばらつき、また入学後のトラブルといった防止をするために、まず採寸前にスカート丈、規定のポスター、そして仕様書、また制服のパンフレット、こういったものを私どもで一括準備をします。つまり「見える化」をして、生徒、保護者、学校、業者すべてが同じものを見ながら意識を統一するということが可能です。それによって均一でスムーズな納品をお約束します。先生方のお困りごとは私たちの自分ごと、常に当事者意識をもって、「困った」を「良かった」に変えるという努力をしていきたいと思っております。

その他のアフターフォローにつきましては、提案書の 26 ページ以降にいろいろ載せさせてもらっていますが、お時間の関係で今日は割愛させていただきます。またお時間のあるときに一度、ご一読をお願いいたします。

ではいよいよ、本日のプレゼンの肝になります、オリジナル商品のコンセプトについてご説明をさせていただきます。高知国際中・高の目指す姿、これを表すキーワード「志や探究心、自主、自立、グローバル、グローバルマインド」このような言葉を並べたときに、我々心にふと浮かんだのは、やはり高知を代表するヒーロー、坂本龍馬さんでした。まさに時代の寵児であり、先駆者であります。そこで私たちが考えたコンセプト、これが「BE A TOP RUNNER」という言葉です。グローバルな現代、そして未来を力強く走り抜け、一人一人が自分の個性を伸ばし、さまざまな世界でトップランナーになってほしい。こういう願いを込めました。

キーカラーは既存の西高校の制服、南高校の制服からブルーを抽出して、海援隊の隊旗であるあの旗をモチーフにして、左のオリジナルロゴをつくりました。高知国際中・高として新たな船出にふさわしいシンボルだと考えています。このロゴは今回、ご提案させていただいてます見本にも刺繍やオリジナルブランドネームとして表現の方をさせていただいております。

では、お手元の 9 ページ、10 ページで簡単に近隣の制服の状況であったり、他県のスーパーグローバルハイスクールやバカロレア教育を採用している学校さんの制服の実例なども載せておりますが、こういったものを見ていただいたうえで、いよいよこれからは商品の提案の方に入らせていただきます。

それでは私の方からご提案する商品について、ご説明させていただきます。

まずタイプ1は、上品さ漂うブレザースタイルをコンセプトカラーであるブルーとグレーを基調に表現いたしました。まずジャケットには、近隣校と差別化しやすいグレーを使用しております。動きやすく、飽きのこない二つボタンのジャケットで、ウエストの高い位置から切り替えを入れ、知的でスマートな印象を与えております。また襟部分には紺で切り替えを入れ、他校との識別性や国際中・高のオリジナリティを高めております。素材は最新のウォッシュブルツイードを使用しており、ウール80のしなやかな手触り、高いストレッチ性に加え、撥水性も兼ね備えております。

ネクタイ・リボンについては、カラーを中・高で変えることで識別できるようにしております。このカラーはボトム柄にも使用しているブルー、そして坂本龍馬さんの着物の色であるブラウンを取り入れ、全体的な統一感を出しております。また、着脱しやすいようにワンタッチタイとなっております。ネクタイ・リボンのカラーやバッジの小物アイテムで中学、高校の識別をする方法は進級、進学時のコストを低く抑えることができるため、保護者からのニーズが高いと考えております。

また、スカートのウエスト部分には飾りベルトを付け、シャツをインしても、可愛らしく見えるように飾りベルトをお付けしました。飾りベルトをお付けすることで、スカートの折り曲げを防止する役割もごさいます。

そしてシャツですけれども、男女ともにストレッチの効いた最新のニットシャツをご提案させていただきます。動きやすく、しわになりにくいため、近年人気のアイテムとなっております。ご採用いただきますと、県内では採用第1号となります。

そしてタイプ1の夏服ですけれども、爽やかなサックスブルーでのご提案とさせていただきます。男子は半袖シャツ、女子は生徒人気の高いセーラーブラウスをご提案いたします。また、近年採用実績の高いポロシャツもご提案いたします。汚れが目立たず、透けにくく、色落ちしにくいネイビーのポロシャツは生徒や保護者からの要望が高く、近年採用が増えております。

次に夏のボトムですが、あえてベースカラーをグレーに変えてのご提案です。理由は中・高一貫校で6年間制服を着用するため、冬服と夏服をそれぞれきちんと着分けることで制服自体が長持ちをし、結果的にコストパフォーマンスが高まると考えております。ベースカラーを明るめのグレーにすることによって、涼やかでネイビーのポロシャツとの相性も抜群に良くなります。

最後にこのプランの最大のポイントとしまして、災害や交通事故から生徒たちの命を守る安心・安全機能をお付けしている点です。何とこちらのボトムの柄には、光を反射する反射糸を織り込んでおります。

〈電気を消して、反射糸に懐中電灯を当てる〉

こちらのように車のライトに反応しやすい糸を織り込んでおりますので、災害で停電した際にも生徒たちを見つけやすいなどの効果があります。またぜひこの機会に、自転車通学用のヘルメッ

トもご検討いただけたらと思います。通学時の安全だけでなく、災害時にもお役に立てることだと思っております。

続きまして、タイプ2のスタイルになります。こちらは洗練されたスーツスタイルでのご提案とします。一見、無地のように見えますが、紺地にキーカラーのブルーとグレーを使用したストライプ柄を使用しております。タイプ1と同じく、動きやすく、飽きのこない二つボタンのジャケットですけれども、同色の縁ボタンや落ち着きのあるノッチドラペルで、よりシックでトラディショナルな印象を与えます。素材はもちろん丸洗いOKで、耐久性の高いウール50%、ポリエステル50%のストライプ柄を使用しております。

上着に使用している芯地をご確認いただきたいと思います。お手元の資料の表紙にちょっとクリップで付けさせていただいているんですけども、一般的な芯地の耐久性と、私どもで使用している芯地のサンプルをお持ちさせていただきました。

ビリッとやってもらって構いません。ビリッと力をかけてください。

切り込みが入っておりますので、そこを思い切りグリッと引き裂いていただければ耐久性を実感できるのかなと思います。耐久性の詳細につきましては、ページ数21~22にて表記をしておりますので、またお時間の構わないときにお読みいただければと思います。

そして、校種間の識別はタイプ1と同じくネクタイのカラーを中・高で変えております。また、ピンやバッジでの識別も低コストで識別しやすい方法だと考えます。中学校はエンジ色で元気よく、そして高校はネイビーで落ち着いた雰囲気を高めております。タイプ2はスーツスタイルのため、あえてリボンではなく、女子もネクタイでのご提案としました。こちらを着脱しやすいようにワンタッチタイでございます。シャツは知的でおしゃれな印象を高めるクレリックシャツをご提案いたします。こちらのデザインも採用いただきますと、県内第1号でございます。また、希望者購入品としまして、共生地のベストもご提案させていただきます。スリーピースのスタイルで、より知的でトラディショナルな印象を与えます。

次に、夏服は同じくクレリックタイプの半袖シャツをご用意いたしました。本日お持ちしました白のポロシャツなどのオプションアイテムのご採用もよろしいかなと思います。そして夏服のボトムは同柄の夏素材でございます。

タイプ2の最大のポイントとしては、何と6年間の成長をサポートするサイズアップ機能をお付けしている点です。何とジャケットの袖が伸ばせるだけでなく、脇を広げることで胸囲を大きくすることが可能です。また着丈も伸ばすことが可能です。スカートはアジャスターでウエストを広げることができるだけでなく、ウエスト部分に織り込みを入れて丈を長くすることもできます。スラックスにおいても従来の丈伸ばしだけでなく、成長に合わせてヒップやウエストのサイズアップが可能です。このサイズアップにより、買い替えの回数やコストを下げることができ、保護者にとってとても嬉しい機能となっております。さらにサイズアップの補正代金は6年間、わが社が負担させていただきます。

続きまして、商品の素材や具体的な機能性についてじっくりと

	<p>お伝えしたいところなのですが、ちょっとお時間に制限がございますので、お手元の資料の 19 ページから 23 ページまでをゆっくりとお読みいただければと思います。</p> <p>また、今回ご提案させていただきましたこちらの商品は、あくまでも一例でございます。ご縁をいただきました暁には事務局の方々、そして関係者の方々のご意向を反映させていただき、さらに高知国際中・高さんにふさわしい制服をつくり上げるお手伝いができますことを願っております。</p> <p>また、ご提案商品のお見積価格に関しましては、お手元に見積書というのをお作りさせていただいてます。私どもが今、使わせてもらっています県立高校・中学校のブレザー型とそれほど大きく大差ない金額ではございますが、高いということはありません。何とか頑張っってちょっといくらかディスカウントの方は今のところさせていただいております。あくまでも参考の価格という形でご検討していただければなと思います。</p> <p>最後に一言、ちょっと今日、裏方でお連れしました新入社員からちょっと意気込みを最後、一言出して締めたいなと思ってます。大きな声でお願いします。</p> <p>今年、入社いたしました。私は徳島県から来まして、この高知県に来て、1 カ月と半月しか経っておりません。しかし、高知国際中学校のこのプレゼンがあると伺いまして、今の自分に何ができるかは分かりませんが、こんな機会は滅多にないことと思い、ぜひこのプレゼンに参加させていただきたいと申し出ました。</p> <p>今は知識や経験では、こちらにおられる先輩方には劣りますが、仕事に対する情熱、そして体力には自信があります。来年新たに掲げられるこの高知国際中学校の旗の下、私も生徒たちと学校とともに成長したいと考えております。ぜひ、私にこのお仕事をお手伝いさせてください。ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、わが社のプレゼンテーションを終わらせていただきたいと思います。</p> <p>とにかく、明るく、楽しく、そして激しく、そして分からないことがあってもできないということは絶対に言わない。これが我々の事務所のソウルと思ってますので、ぜひまた新しい学校様ともお付き合いをさせてもらえたらと思っています。どうもご清聴ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。制服メーカー B 社様のプレゼンテーションでした。</p> <p>ただ今のプレゼンテーションについて、委員の皆様から質問があればお願いいたします。</p>
B 社	<p>反射ライトがいまいちだったので、何だったら周りを囲んで、近くで見えていただいてもいいですし、またご確認の方、よろしくをお願いいたします。</p>
委員	<p>はい、いいですか。</p>

会長	はい、どうぞ。
委員	お見積りを 2 種類、いただいているんですが、これどちらがどちらなんですか。
B社	タイプ 1 が、1 枚目の方の、この 4 点ですね。タイプ 2 は 2 枚目、後ろの方の紙がこちら側ですね。
会長	その他、ございませんか。
委員	採択された場合に、今、2 種類ご提案いただいていますけれど、この今、想定されているプランとしては何案ご提案の予定ですか。
B社	それが一番、我々のネックと言いますか、非常に悩ましいところでして、自分らがこんな形でついつい前のめりになってしまうので、考え出すと 10 も 20 もプランが出てきてしまっていて、ちょっとどれでいこうかと思ったんですけども、今回はとりあえず 2 プラン、まずコンセプトに合わせて 2 プランという形になったんですけども、もちろんプラン自体は 10、20 際限なくございます。ただ、やっぱりいろいろ選び手のことも考えるとやっぱり 6 案～8 案ぐらいまでが一番選びやすいのかなというふうには考えております。ありがとうございます。
会長	そのほか、ございますでしょうか。
委員	やはりメンテナンスというところで、ご家庭でも大変な作業が必要になるということになると、あれだとは思いますが、特にブレザーですね、ブレザーの方がウォッシュャブルというお話、お聞きしたんですけども、どの程度の、型崩れなどが起こる可能性があるでしょうか。
B社	ありがとうございます。そうですね、今の男の子の詰襟の学生服のように、バスタオルや雑巾と一緒に、体操着と一緒に突っ込んで洗えるというレベルのものでは正直ございませんが、こちらウール 80、ウール 50、ボトムスもウール 30 でつくっておりますので、全てネットに入れていただいて手洗いコースを選択していただければ、簡単にご家庭で洗濯が可能です。そのまま通常の洗濯物と同じように。ブレザーに関しては少し陰干しであったりとか、いうことの方がよろしいかと思っておりますけども、ご家庭でドライクリーニング等々に出すことなく洗濯は可能です。なので洗濯に関しては比較的、年間 20 回、30 回していただいても大丈夫という品質を我々誇っております。
会長	その他、ございますか。はい。
委員	タイプ 2 の方はサイズの直しとかありますが、タイプ 1 はどうでしょうか。
B社	今回はちょっと切り口を分けまして、タイプ 1 はまず反射糸を推していこうと、タイプ 2 は成長機能を出そうと。逆にタイプ 1

	<p>に成長機能を付けてください、これはむしろありがたい。先生、今のご質問で可能です。むしろそこまで言うときに、ハイブリッドに良いものができるのかなど。大きくそういうこともできる、車のライトも反射する、であればよりコストパフォーマンスは上がるのかなというふうに考えております。なので、搭載することは可能です。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>その際、その価格的にはそんなに変わらない。</p>
<p>B社</p>	<p>正直ですね、同じものを使ってサイズアップ機能と普通のものですと、やっぱり多少縫込みであったり、材料がちょっと余分に要りますので、その分のコストアップはやっぱり1割程度あるのは事実です。ズボンに関しては、ちょっとウエストの部分とかヒップのところの重なりを増やすだけぐらいなので、そんなに変わらないですけど、ジャケットはいくらかやっぱり割高にはなります。ただ、それでやっぱり買い換えなきゃいかんということになると、また2万円くらい払わないかんというコストとの兼ね合いでいくと、もし買い替えて1回しなくていいならば、やっぱり2万何千円というお金が不必要になってくるので、これはメリットがある。特に中・高の、今回は中・高の6年間になってくるので、考え方的にはちょっと遠距離で通っている方のプリウスでの通勤みたいなイメージで、最初の初期投資はいくらか高いけども、ランニングコストを下げることができます、いう考え方です。はい、ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほか、ございませんか。</p>
<p>副会長</p>	<p>外国から見ると、日本の制服ってどう見えるものでしょうか。</p>
<p>B社</p>	<p>そうですね。想定外の質問をしてくれてありがたいですね、これ。頭の砂時計が止まるというのは好きなことでして、これで、あ〜なるほどなということ自分の振り返りができます。</p> <p>そうですね、外国から見ると、日本の制服は、そうですね、多少、中学校の詰襟であったり、セーラー服というのは1つ、ちょっと日本の独特の文化、余り海外ではない文化なのかなというふうに思います。あと、ブレザースタイルに関しては、今は「かわいい」って言葉が全世界共通の言語になっているので、ブレザー型のスカートとチェックの柄のスカートをはくということは、一つの海外の方から見ると、これも一つの日本のポップカルチャーの一つなのかなというふうに見られる方もいらっしゃるんじゃないかなと思います。</p> <p>我々特に、タイプ1はどちらかと言うとそういう全体的ないわゆる高校の、全世界、海外の方も含めて高校の日本の制服っていうイメージでタイプ1をつくりましたけど、タイプ2に関してはもう少しトラディショナル、かわいい文化とはちょっと一線を画して、海外でもそのまま、即トラディショナルで保守的、保守的という言葉、いいか分かりませんが、落ち着きのある、長く愛されるものなんじゃないかなという形でタイプ2の方はご提案させていただきました。ちょっとお答えになっているかどうかあれなんですけど、そのように考えております。ありがとうございます</p>

<p>会長</p>	<p>ます。</p> <p>そのほか、ございませんか。よろしいですかね。</p> <p>それでは、以上で制服メーカーB社様のプレゼンテーションを終わりにしたいと思います。なお、製品サンプルについては、審査時間までここにおいていただけるというふうに事務局から聞いておりますので、のちほどカバーをかけて会場の後方に移動させていただきます。</p> <p>そして、本日の審査結果につきましては、日を改めて事務局よりメール及び郵送で連絡があります。第1位になりましたら、次のステージで高知国際中学校・高等学校の制服のご提案をよろしくお願いいたします。なお、その1位になった場合に、次の選考を行うわけですけれども、その選考委員会は公開となりますけれども、それはよろしいでしょうか。</p>
<p>B社</p>	<p>大丈夫です。もちろんでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですかね。ありがとうございました。</p> <p>では、プレゼンテーションどうもありがとうございました。</p>
<p>B社</p>	<p>こちらこそありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>今から片づけをしていただきますので、10分間休憩を取りたいと思いますが、よろしいでしょうか。では、35分開始ということでお願いします。</p>
<p>事務局 (司会)</p>	<p>以上でプレゼンテーションはすべて終了しました。ここからは審査となりますので、非公開となります。傍聴の方は退出をお願いいたします。</p>